

『だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現』をめざして

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of Ibaraki



茨城シニアマスター活動(関連記事P4)

Contents

- 2 ~ 3 **特集** 茨城県社会福祉協議会
平成26年度 事業計画・予算
- 4 元気シニアバンクをご利用ください
茨城県警察からのお知らせ
- 5 常磐大学と包括連携協定を締結
苦情解決事業実績について
教育支援資金貸付制度のご案内
- 6 茨城県介護支援専門員実務研修受講試験のご案内
介護支援専門員更新・再研修のご案内
- 7 「ふくし職働」をご利用ください
福利厚生センター会員交流事業のご案内
新設福祉施設のご紹介
- 8 就職相談会・面接会のご案内
施設職員等研修ガイド

- 9 わかち合おう小さな善意
- 10 社協職員リレートーク
- 11 information
- 12 地域福祉活動レポート

はんどちゃんを紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり県民運動」のキャラクターとして茨城県社会福祉協議会、茨城県内の市町村社会福祉協議会を中心に活用されています。

みんなの手で地域をつくらう



はんどちゃん

ふれあいネットワーク

特集

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 平成26年度事業計画(概要)

1 基本方針

甚大な被害をもたらした東日本大震災の発生から3年が経ちましたが、現在も復旧・復興に向けた取り組みが続けられております。この東日本大震災においては、人と人との「絆」の大切さが再認識されました。人と人との関係が希薄になりつつある現代社会においてこそ、絆を大切にし、みんなで助け合い、お互いが信頼し合える地域社会づくりを進める必要があります。

また、経済・雇用情勢については、改善を示す動きも見られる一方で、急速な少子高齢化が進行しており、社会保障費は増大し続けております。そのため、社会保障と税の一体改革等に基づき、医療や介護、福祉の各分野で新しい仕組みが検討されています。

このような中、本会としては、行政、市町村社協をはじめ、

社会福祉関係施設・団体等とさらなる連携強化を図りながら、これらの対策を円滑に進め「だれもが その人らしく安心して暮らせる福祉社会の実現」のため、社会的使命を果たしていく必要があります。

このため、平成25年度に策定した第4次茨城県地域福祉活動推進プランに基づき、住民主体の支え合い活動であるサロン活動の普及促進、フェスティバル開催等によるボランティア・市民活動の支援、就職相談会や研修の実施等による福祉・介護分野の人材確保と育成、生活福祉資金貸付等による生活困窮者支援、日常生活に支障のある方の自立支援、苦情解決相談やサービス評価による福祉サービスの向上、ねんりんスポーツ大会開催等による高齢者の健康・生きがいづくり等に取り組んでまいります。

2 重点事業

使命1 支え合う福祉

■ 約束1 福祉の大切さを伝える

東日本大震災からの復旧・復興に向かうにあたり、住民同士のつながりや支え合いの大切さを改めて知らされました。本会では、人と人が支え合う大切さを「はんどちゃんネットワーク運動」、「福祉教育の推進」等を通じて伝えていきます。また、福祉に関する情報を収集するとともに、ホームページや広報誌を通じて、適切にわかりやすく情報を伝えます。

■ 約束2 福祉の大切さに気づいた人を支える・つなげる

福祉の大切さに気づいた人たちは、その思いをボラン

ティアや市民活動という形に変えて地域に貢献しています。本会では、人の思いの実現を後押しするとともに、ボランティア活動や市民活動に取り組む方の支援や関係機関・団体との連携を図るため、ネットワークの構築を図ります。

また、高齢者がいつまでも生きがいを持ち、健康に暮らし続けられるよう、「いばらきねんりんスポーツ大会・交流大会の開催」、「ニュースポーツの普及推進」、「元気シニア地域貢献事業の実施」、「わくわく元気アップ講座の開催」により、高齢者の健康と生きがいづくりを支援し、社会参加活動の促進に努めます。

使命2 安心して利用できる福祉

■ 約束3 その人らしさを引き出し・守る

県民一人ひとりが安心して豊かに暮らすためには、個人の尊厳や権利が守られることが必要です。本会では、暮らしの中で課題や不安を抱える人たちに対して、「日常生活自立支援事業」や「運営適正化委員会事業」に取り組むことにより、耳を傾け、時には寄り添い、手を差し伸べることにより、自立を側面から支援します。

また、「福祉サービス第三者評価事業」及び「認知症高齢者グループホーム等の外部評価事業」を行い、評価結果を公表することにより、福祉サービスを利用する人たちが福祉サービスを適切に利用できるよう援助します。

■ 約束4 生活困窮者への自立支援

県民が安心して社会生活を送るためには、心身の健康はもちろんのことですが、経済的に安定していることが大切です。本会では、経済的理由により暮らしに不安や困難を抱えている人に対して、必要に応じて生活福祉資金の貸付制度の利用を促すなど、自立した生活に少しでも近づけるよう支援を行います。

また、生活困窮者が抱える経済的な不安を軽減し、負の連鎖を断ち切り、自立を支援するため、関係制度へのコーディネートや関係機関とのネットワークづくりに取り組みます。

使命3 質の高い福祉と協働する福祉

■ 約束5 福祉を支える人を増やし・資質を高める

少子高齢化が進む中、社会では福祉サービスに対する期待が高まっている一方、社会福祉施設・事業所では慢性的な人材不足が深刻化しています。本会では、社会福祉施設・事業所が福祉ニーズに対応した福祉人材を確保するため、社会福祉事業に就職を希望する方への就業の相談・援助や、福祉の就職総合フェア（就職相談会）等を実施するとともに、介護支援専門員の養成・充実を図ります。

また、福祉施設に従事する方々に対し、「民間社会福祉施設職員等退職手当支給事業」や「福利厚生センター事業」により、福利厚生面に関する支援を行います。

さらに、社会福祉事業従事者の専門職としての資質向上を一層高め、多様化するニーズに対応できるよう、福祉人材の育成に取り組みます。

■ 約束6 関係機関・団体等と支え合い共に歩む

本会では、市町村域を超えた広域で展開される事業について、様々な関係機関や団体などと連携し、協働することが求められています。国や県の動向を的確に把握し、関係機関・団体などに伝えていき、県、市町村社協、社会福祉団体、社会福祉施設、事業所などと有機的に連携しながら県域における質の高い福祉を目指します。

使命4 切り拓く福祉

■ 約束7 ニーズに気づき・こたえる

私たちの暮らしにおいては、常に新たな問題・課題が発生しています。本会では、常に社会の変化を敏感に捉え、その問題・課題の中にあるニーズの把握に努め、それらニーズについて、十分な検討を行います。

また、検討結果を踏まえ、課題解決に向けた事業化や関係団体への提言等の対応策を講じます。

使命5 前進する県社協

■ 約束8 歩み続ける県社協

福祉を取り巻く環境は、常に社会の変化と隣り合わせにあります。変化する福祉情勢に対応するためには、それに対応できる組織体制を構築し、組織を支える人（職員）や十分な財源の確保が必要となります。

本会では、変化する社会情勢に対応できる人を育て、また、歩み続けられるしなやかな組織づくりと、十分な事業展開を行うための財源を確保します。

さらに、東日本大震災を教訓として、「災害備蓄の整備」や「関係機関との連携強化」を図るなど、災害時における支援体制づくりにも取り組みます。

3 予算

平成26年度 茨城県社会福祉協議会一般会計 収支予算

■ 経常収入・施設整備収入・財務収入他(千円)

勘定科目	予算額
会費収入	22,122
寄附金収入	7,217
経常経費補助金収入	328,605
受託金収入	769,966
貸付事業収入	2,000
事業収入	624,723
負担金収入	12,190
受取利息配当金収入	131,360
その他の収入(事業活動)	903
基金積立資産取崩収入	50
積立資産取崩収入	235,921
生活福祉資金会計繰入金収入	581
事業区分間繰入金収入	2,498
サービス区分間繰入金収入	23,126
前期末支払資金残高	18,897
収入合計	2,180,159

■ 経常支出・施設整備支出・財務支出他(千円)

勘定科目	予算額
人件費支出	260,196
事業費支出	1,138,158
事務費支出	21,849
貸付事業支出	27,021
分担金支出	1,390
助成金支出	144,246
負担金支出	8,504
固定資産取得支出	438
基金積立資産支出	5,852
積立資産支出	536,704
事業区分間繰入金支出	1,995
サービス区分間繰入金支出	23,126
その他の活動による支出	7,776
予備費支出	2,904
支出合計	2,180,159



元気シニアバンクをご利用ください。

茨城県では、高齢者が長年培ってきた豊富な知識・技術・経験・ノウハウなどを、地域活動に積極的に活かしてもらおうと「元気シニアバンク」を開設しています。

元気シニアバンクに登録された高齢者の方々は「茨城シニアマスター」として、利用希望団体からの依頼を受けた「茨城わくわくセンター」からの紹介によ

り原則無償で活動します。

当バンクを利用できる団体は、公民館、子ども会、保育園、幼稚園、小中学校、放課後子どもクラブ、老人クラブ、高齢者サロン、高齢者施設など県内に活動拠点を置く団体、社会福祉施設等です。(ご利用にあたっては、交通費、材料代をご負担していただくことがあります。)



○茨城シニアマスターの分野別登録状況

登録分野	主な提供内容
健康・スポーツ分野	介護予防体操、ニュースポーツ、ウォーキング
文化・芸術分野	楽器演奏、演劇、詩吟、相撲甚句、書道、絵画、川柳、コーラス、ダンス、舞踊、歌の公演、しめ縄づくり
趣味・教養分野	茶道、生け花、手芸、ちぎり絵、絵手紙、おもちゃづくり、民話、昔遊び、郷土芸能、手品、将棋、健康マージャン、牛乳パックリサイクル、ネイチャーゲーム、パッチワークキルト、英会話
介護・地域活動分野	減災講習、自然案内、料理教室、環境保全、交通事故を起こさない・遭わない、日本語教室
子育て分野	子育て支援（講話）

- 利用したいとき
「茨城シニアマスター紹介申込書」により、茨城わくわくセンター宛にお申し込みください。活動団体を決定し、紹介します。
- 登録したいとき
「元気シニアバンク登録申請書」により、茨城わくわくセンターあてにお申し込みください。(登録要件有)



和紙ちぎり絵を指導中のシニアマスター「八色会」

■問い合わせ先 茨城わくわくセンター
TEL : 029-243-8989 FAX : 029-244-4652

インターネットからは トップページ「おすすめコンテンツ」内の「元気シニアバンク」をご覧ください。

茨城県警察からのお知らせ

「だまされた振り作戦」にご協力を!



- 県警では、振り込め詐欺撲滅のため、皆様のご協力を得て「だまされた振り作戦」を行っています。
- 「だまされた振り作戦」とは、

振り込め詐欺と思われる、不審な電話

息子	「風邪を引いて声が変わった」 「携帯電話の番号が変わった」 「バックをなくして弁償」	投資	「未公開株で必ず儲かる」
警察		宝くじ	「当選番号を教える」
銀行	「警察官や銀行員がカードを預かる」		

があった時、皆さんにだまされた振りをしてもらい

犯人の電話番号 **振込先の口座番号** などを聞き出してもらい、警察へ通報してもらう作戦です。

- 振り込め詐欺撲滅のため、皆様のご協力が必要です。ぜひとも作戦へのご協力をお願いします。

■問い合わせ先 茨城県警察振り込め詐欺対策室 TEL : 029-301-0074

常磐大学と包括連携協定を締結

茨城県社協は、地域の福祉活動及び福祉に関わる人材の育成等の推進を目的として、常磐大学と包括連携協定を締結し、平成26年2月26日に水戸市内のホテルで協定締結式を実施しました。

茨城県社協が大学と連携協定を結ぶのは、初めての取り組みです。常磐大学様には、これまで各種研修会や福祉の職場説明会の開催など、茨城県社協の実施する事業にご協力をいただけてきましたが、協定を締結することで、さらに幅広く密接に連携し、より充実した内容の事業を展開していきたいと考えています。



協定書を交わした常磐大学 森学長(左)と茨城県社協 関会長(右)

苦情解決事業実績について

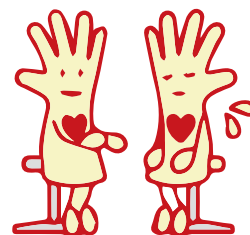
運営適正化委員会では、福祉サービスのサービス内容に関する疑問や不満などの相談を受け付けています。

平成25年度は苦情が64件、相談が20件でした。多かった苦情は、サービス内容についての苦情で、職員の接遇やサービスの質や量に関するものが30件と半分近くを占めていました。

相談受付は、月曜日から金曜日の9時から17時まで(土、日、祝祭日は休み)です。

相談は無料で、プライバシーは厳守いたします。お気軽にお電話ください。

◀相談・問い合わせ先▶
運営適正化委員会事務局
TEL : 029-305-7193 (直通)



教育支援資金貸付制度のご案内

高校以上の修学に必要な資金を“無利子”で貸付しています

学校教育法に規定する高等学校、大学(短期大学及び専修学校の専門課程を含む)、又は高等専門学校に就学するために必要な費用(授業料など)や、それらの学校に入学するときに必要となる経費(入学金など)の貸し付けをしています。

貸し付けの対象となる世帯は、茨城県内に居住する一定の所得額以下の世帯です。お住まいの市町村や世帯の状況(人数など)によって所得額の条件が異なります。

資金種類	貸付限度	据置期間	償還期限	貸付利子
教育支援費	高校 月35,000円以内	(卒業後) 6月以内	20年以内	無利子
	高専 月60,000円以内			
	短大 月60,000円以内			
	大学 月65,000円以内			
就学支度費	500,000円以内			



- ※ 貸付限度額の範囲内で、必要最小限の額の貸付となります。
- ※ 同じ目的で、日本学生支援機構、母子福祉資金等公的融資を既に利用されている方やこれから利用される方は貸付対象外となります。
- ※ 利用にあたっては、いくつかの要件を満たす必要がありますのでご注意ください。

詳しくは、市町村社会福祉協議会、地区担当の民生委員または県社協にご相談ください。

介護支援専門員を
目指す方へ

平成26年度茨城県介護支援専門員実務研修受講試験のご案内

- 【試験期日】 平成26年10月26日(日)午前10時開始
- 【試験会場】 大成女子高等学校、茨城キリスト教大学、流通経済大学、つくば国際会議場
- 【受験資格】 保健・医療・福祉の分野で通算5年以上かつ900日以上又は通算10年以上かつ1,800日以上の実務経験を有し、以下のいずれかに該当する者
 - ・現在茨城県内で受験対象資格の業務に従事している者
 - ・現在受験対象資格の業務に従事していないが、住所が茨城県内にある者
- 【実施案内配布】 6月3日(火)～7月16日(水)
- 【受験手数料】 7,500円(銀行窓口振込) ※振込手数料は自己負担
- 【願書受付期間】 6月3日(火)～7月16日(水)当日消印有効 ※簡易書留で郵送されたもののみ受付
- 【合格発表】 12月10日(水)午前10時
- 【試験詳細】 県社協ホームページをご覧ください。

介護支援専門員の
資格を持つ方へ

平成26年度介護支援専門員更新(実務未経験者向け)・再研修のご案内

- 【目的】 介護支援専門員証に有効期限が付されたことに伴い、介護支援専門員として実務に就いていない者が更新を行うとき、また、有効期間が切れた者が実務に就く際に、介護支援専門員として必要な知識及び技術の再修得を図る。
- 【更新研修対象者】
 - (1) 1回目の更新者
介護支援専門員登録証明の有効期間が1年以内(平成27年3月31日まで)に満了する者(登録日が「平成21年4月1日から平成22年3月31日まで」の者)で、介護支援専門員として一度も実務に従事していない者(実務未経験者)
 - (2) 2回目の更新者
介護支援専門員登録証明の有効期間が1年以内(平成27年3月31日まで)に満了する者で、1回目の更新後、実務に従事していない者
- 【再研修対象者】 原則として、介護支援専門員として茨城県に登録をした者で、登録後5年以上実務に従事していない者、または、実務経験はあるがその後、実務に従事する予定がないとして更新を行わなかった者等で、今後、新たに介護支援専門員証の交付を受けようとする者(有効期間満了者)
- 【定員】 270名(予定)
※ただし、次年度以降、介護支援専門員として実務従事予定者を優先します。
- 【研修期間】 平成26年10月上旬～12月中旬
- 【研修課程】 前期課程4日間、後期課程3日間の計7日間(44時間以上)とし、前期課程と後期課程の間に実習を行う。
- 【申込締切日】 平成26年7月31日(木)必着
- 【申込・問い合わせ先】 〒310-8586 水戸市千波町1918
茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部 TEL:029-244-4544
- 【その他】 実施要項・申込み方法の詳細については、県社協ホームページにも掲載いたしますので、併せてご利用ください。
- 【注意事項】 「実務経験者向けの介護支援専門員更新研修」および「介護支援専門員専門研修」の受講対象者が、本研修を受講・修了しても、更新手続きはできません(更新要件を満たしたことはありません)ので、十分にご注意ください。

茨城発 求職者支援強化事業

ふれあって 暮らしをささえる しあわせな 職業 どう?
「ふくし職働」をご利用ください。

「ふくし職働」では、福祉の仕事を希望する方や、福祉の仕事を続けていこうとする方をお手伝いするために、各種講座や自由に話せる場（サロン）を開催しています。

おしながき(主な内容)

※ 参加費は無料です

- 福祉の仕事／資格の相談
- 暮れ六つ講座（隔週火曜日）
就職活動や福祉の仕事に活かせる実践的な講座です。
- 夕暮れしゃべり場（隔週水曜日）
仕事や就職活動の悩み・不安・やりがいについて語り合えるサロンです。
- 木になる講座（隔週木曜日）
福祉施設利用者に楽しんでもらえるレクリエーション技術習得のための講座です。
- おひさま講座
昼間に実施する、福祉の仕事の実践講座です。

参加対象	福祉の職場に就職を希望する方、福祉の仕事に関心のある方 福祉の職場に関心のある高校生／専門学校生／短大生／大学生
開催日程	県社協ホームページをご覧ください。
開催場所	茨城県総合福祉会館2階 茨城県福祉人材センター内「ふくし職働」ルーム
申込方法	受講申込書に必要事項を記入の上、郵送又はFAXにて各講座開催日の2日前までにお申し込みください。(電話申込可)
申込み・問い合わせ先	茨城県福祉人材センター TEL:029-244-4544

福利厚生センター会員交流事業のご案内

福利厚生センター茨城では、会員の皆様向けに下記の会員交流事業を企画しております。

企画の詳細につきましては、今後送付するチラシまたはソウェルクラブホームページをご覧ください。

○現在企画している会員交流事業

事業名	実施日
東京ドーム野球観戦（巨人対中日）	8/9
リトルマーメイド(常磐・県西)	9/27
歌舞伎座（演目未定）(常磐道・鹿行)	10/11
茨城空港発 秋の京都2泊3日	11/14～16
ワインの夕べ	11/30
クリスマスワンナイトクルーズ2日間	12/20～21

≪問い合わせ先≫

■ソウェルクラブ(福利厚生センター)茨城
茨城県社会福祉協議会 福祉事業部
TEL:029-241-1133 FAX:029-241-1434
HP:http://www.sowel.or.jp/

新設福祉施設(増設を含む)の紹介

平成26年2月1日～平成26年4月30日までの開設

特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム 愛宕園 社会福祉法人 砂沼会

定員／50名(増設)

〒304-0028 下妻市下木戸字愛宕浦544番1
TEL:0296-44-5387

特別養護老人ホーム グリーンハウスひたちなか 社会福祉法人 尚生会

定員／70名

〒312-0052 ひたちなか市東石川3183-1
TEL:029-354-8001

特別養護老人ホーム 和の家 社会福祉法人 神和会

定員／29名

〒311-2215 鹿嶋市和825番1
TEL:0299-78-7880



福祉・介護職を目指す方へ ～就職相談会・面接会のご案内～

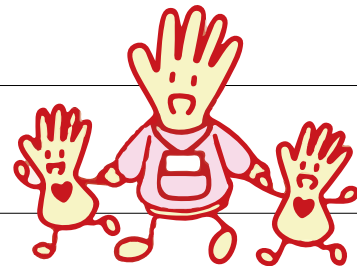
茨城県福祉人材センター(無料職業紹介所)では、福祉・介護職を希望する方を対象に、「福祉・介護職場就職相談会」や「地区別就職面接会」を開催しています。

〈申込・問い合わせ先〉 茨城県福祉人材センター TEL:029-301-0294

福祉・介護職場就職相談会

就職活動や資格等に関する相談をお受けします。

開催日	各所1回/月(詳細な日程は県社協ホームページをご覧ください)
開催場所	結城市、常陸太田市、高萩市、笠間市、牛久市、守谷市、坂東市、鉾田市、東海村、阿見町
参加対象	<ul style="list-style-type: none"> 福祉の職場に就職を希望する方 福祉の職場に関心のある高校生/専門学校生/短大生/大学生 福祉の仕事/資格取得に関心のある方 求人事業所の方
相談内容	<ul style="list-style-type: none"> 求職に関する相談 福祉の仕事/資格等の相談 求人に関する相談
参加方法	<ul style="list-style-type: none"> 相談無料 予約制



地区別就職面接会

福祉事業所との面談や福祉の仕事・資格等の情報提供を行います。

開催日 及び会場	7月19日(土) 13:00~15:00〔会場:ホテル天地閣(日立市旭町2-6-13)〕 8月9日(土) 13:00~15:00〔会場:結城市民文化センターアクロス(結城市新福寺8161-1)〕 8月24日(日) 13:00~15:00〔会場:笠間市立友部公民館(笠間市中央3-3-6)〕
参加対象	福祉・介護の職場に就職を希望する方
参加方法	参加は無料で、求職者の事前の申込・予約は不要です。当日、会場で受付いたします。入退場は自由にできます。
参加事業所	各日程それぞれ20事業所が参加予定です。現在職員を募集している事業所や、新卒者(平成27年3月卒業見込者)の採用のある事業所などが参加します。

茨城県はんどちゃん人づくり研修等事業

「施設職員等研修ガイド」(平成26年7月~9月開催予定分)

7月		8月		9月	
9~10日	研修担当者養成研修	5~6日	クレーム対応力強化研修Aコース	3日~4日	OJTマネジメント研修Bコース
16~17日	コーチングスキル研修Aコース	27~28日	OJTマネジメント研修Aコース	6日	社会福祉施設等安全運転研修
30~31日	コーチングスキル研修Bコース			10~11日	OJTマネジメント研修Cコース

※なお、県社協ホームページ「福祉の仕事・研修」からも研修案内が閲覧できますので、ぜひご活用ください。



わかち合おう小さな善意

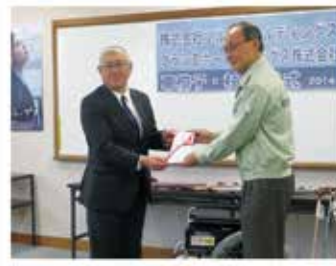
平成26年2月～4月 基金別預託状況(敬称略)

各基金の預託(寄付・寄贈)状況についてご報告いたします。基金の詳細内容については県社協ホームページをご覧ください。心あたたまるご支援ありがとうございます。

お預かりいたしました寄付・寄贈につきましては、預託者様からのご意向を尊重して使用させていただきます。



茨城県PTA連絡協議会より50万円の寄付をいただきました。



株式会社ツルハホールディングス、クラシエホールディングス株式会社より車椅子の寄付をいただきました。

ボランティア基金

預託者名	金額(円)
株式会社セイコーマート 茨城地区事務所	646,597
合計	646,597

交通遺児福祉基金

預託者名	金額(円)
海老根 道雄	20,000
大洗町交通安全母の会	10,000
合計	30,000

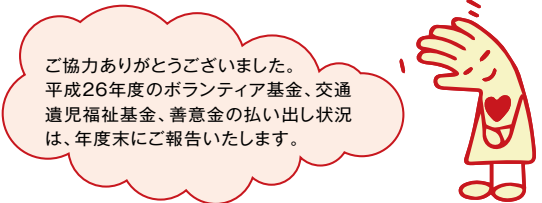
善意金

預託者名	金額(円)
丸大食品株式会社	10,287
公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会 茨城県協会	75,680
茨城県PTA連絡協議会	500,000
合計	585,967

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

預託者名	預託者名
高柳幸美、高柳真美、眞子勉	富士ゼロックス茨城株式会社
株式会社 三共建設	茨城県教育研修センター
株式会社 旭物産	三井住友海上火災保険株式会社 茨城支店
太陽日酸東関東株式会社 水戸営業所	株式会社 常南部品商會
フコク生命 水戸支社 外野倶楽部	茨城県庁内郵便局
水戸緑岡郵便局	茨城県庁
茨城県腎臓病患者連絡協議会	匿名
きらら館	

社会福祉協議会(日立市、取手市、かすみがうら市、水戸市、東海村、小美玉市、常陸大宮市、つくばみらい市、坂東市、常陸太田市、城里町、大洗町、鉾田市、美浦村、ひたちなか市、五霞町、龍ヶ崎市、土浦市、茨城町、八千代町、守谷市、阿見町、古河市、北茨城市)



ご協力ありがとうございました。平成26年度のボランティア基金、交通遺児福祉基金、善意金の払い出し状況は、年度末にご報告いたします。

善意品

預託者名	善意品	払出先名
株式会社 ポップサーカス	ポップサーカス千葉公演招待 15名	社会福祉施設
NPO法人 フードバンク茨城	清涼飲料水 48ケース	茨城県社会福祉協議会
株式会社 ツルハホールディングス	杖 100本	市町村社会福祉協議会、茨城県社会福祉協議会
株式会社 ツルハホールディングス クラシエホールディングス株式会社	車椅子 10台	社会福祉施設

平成25年度 基金別払い出し状況

平成25年度の各基金の払い出し(配分)状況についてご報告いたします。

ボランティア基金

	助成金額(円)	助成対象
ボランティア団体助成	1,967,900	9団体
市町村社協助成	4,636,800	24社協
合計	6,604,700	

交通遺児福祉基金

	金額(円)	助成対象
就学奨励金	2,150,000	合計43名(小学校卒業18名 中学校卒業25名)

善意金

	金額(円)	払い出し対象
指定払い出し	4,980,000	22ヶ所
団体助成	236,000	5団体
合計	5,216,000	

平成25年度 使用済み切手・使用済みカード等寄付の集計結果

★使用済み切手/355,600円(約4,162,726枚)

★使用済みカード/4,500円(約94,672枚)

★合計 360,100円

※これらについては、ボランティア支援事業として使わせていただきます。

社協職員リレートーク

私の3つのオススメ

笠間市社会福祉協議会
矢口 勝博

皆さん、こんにちは。前号を担当された同期のつくばみらい市社協瀧村さんからバブル時代のネタをとの依頼をされましたが、瀧村さんより2つ年下の私は、バブル時代のイケイケムードってあまり経験していません。よって、話題を変えて、私のオススメを3つほど紹介させていただきます。まず1つ目は、インディアカというスポーツです。皆さんご存知ですか？ インディアカは、4人でチームを組んで、スポンジ状の土台に社協職員が慣れ親しんだ、大きな赤い羽根をつけたボールを手で打ち合います。大会によりルールは異なりますが、私がやっているのは、ソフトバレーと同じルール。老若男女が簡単にできるスポーツです。皆さんもチャレンジしてみませんか？

2つ目のオススメは、オートバイ。季節の“風”の中を気の合う仲間達とのツーリングは最高です。また、一人でふらっと、宛てもなく気

の向くままに走ってくるのもストレス解消になっています。皆さんもバイクや自転車などで季節の“風”を感じてみませんか？

最後のオススメは、サッカー J2リーグ水戸ホーリーホックの応援。同じ県内のJ1鹿島アントラーズももちろん応援しておりますが、水戸ホーリーホックのホームスタジアムは、自宅から車で15分。小さなクラブですが、地域密着。J1昇格を目指しチーム・選手・スタッフ・サポーターが一丸となって懸命に頑張っております。ビールを片手にスタジアムで観戦。選手との距離も近く、テレビでは感じられない臨場感は最高。皆さんも是非、ケーズデンキスタジアムに足をお運びになり、一緒に応援しましょう！

いかがだったでしょうか？私の3つのオススメ。皆さんのオススメも教えて下さいね。

次回は、大洗町社協の栗原次長さんです。サッカーネタ継続でよろしくお祈りします。



インディアカ



私の相棒



頑張れ！水戸ホーリーホック

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

平成26年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入！！

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

補償金額（保険金額）

プラン		Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金	1,200万円	1,800万円
	後遺障害保険金 (障害額)	1,200万円	1,800万円
	入院保険金日額	6,500円	10,000円
	三分 保険金	入院中の三分 65,000円	100,000円
	外来の三分	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円
賠償責任	賠償責任保険金 (個人・対物共済)	5億円 (限度額)	5億円 (限度額)

年間保険料

プラン		Aプラン	Bプラン
タイプ	基本タイプ	300円	450円
	充実タイプ* (補償内容が充実)	460円	690円

*充実タイプは、大災（地震・噴火・津波）に該当する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、大災に該当する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例

- 活動ボランティア活動中、転んでケガをした。(ケガの補償)
- 活動中にかかり途中、交通事故にあつた。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒にあつた。(ケガの補償)
- 被害者ボランティア活動で活動中に誤ってけが人を造つた。(賠償責任の補償)
- 自席中でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

ボランティア行事用保険

送迎サービス補償

福祉サービス総合補償

● お申込み、詳しい内容のお問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
(引当金共済会) 日本興亜損害保険株式会社
TEL:03(3593)6245

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区雁が岡3丁目3番2号 新雁が岡ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
受付時間：平日の9:30～17:30（12/29～1/3を除きます。）
この保険は、全国社会福祉協議会が協賛のもと、任意で契約が可能な保険です。

日本興亜損害と補償サービスの関係は、関係各社の協賛を前提として、平成26年9月1日に合意し、引当金共済会が日本興亜株式会社になりました。

INFORMATION

いばらき社会福祉協議会からのお知らせ

お知らせ 職員メールアドレスが変更になりました

平成26年4月より職員のメールアドレスが下記に変更になりました。従来のものは使用できませんのでご了承ください。なお、代表アドレスは変更ありません。

新アドレス

職員名・部署名等@ibaraki-welfare.or.jp

お知らせ サロンコンサートを開催しています

県社協では、茨城県総合福祉会館を会場にサロンコンサートを開催しています。7月から9月の開催予定は下記のとおりです。ぜひお越しください。

開催日時・内容

- ・7月3日(木) 12時10分～13時
内容：琴・ピアノ 出演：ルネッサンス雅
- ・8月5日(火) 12時10分～13時
内容：大正琴 出演：柴田音楽教室
- ・9月(日程未定：決定後総合福祉会館HPに掲載) 12時10分～13時
内容：ピアノ親子コンサート
出演：山崎奈々・由美子

会場

茨城県総合福祉会館1階 県民サロン
水戸市千波町1918番地

問い合わせ先

茨城県社会福祉協議会 総務部(茨城県総合福祉会館事務室)
TEL:029-244-4545



募集 県社協会員を募集しています

県社協では、本会の趣旨・目的にご賛同いただける会員を募集しております。会員の皆様からいただいた会費は、本会の貴重な財源のひとつとして、県内の地域福祉向上に活用されます。皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

対象

正会員：本会の趣旨・目的に賛同する社会福祉施設及び社会福祉団体・社会福祉関係団体等

賛助会員：本会の趣旨・目的に賛同する個人または団体等

会費

会員種別や団体種別等により異なりますのでお問い合わせください。

特典

- ・本会の事業に係る計画及び結果についてご報告いたします。
- ・広報誌「いばらきの社会福祉」を送付いたします。
- ・社会福祉大会にご参加いただけます。

問い合わせ先

茨城県社会福祉協議会 総務部
TEL:029-241-1133

※本会ホームページにも詳細を掲載しております。

募集 広告を募集しています

県社協では、広報誌及びホームページバナーの広告を募集しています。

- 広報誌「いばらきの社会福祉」広告
- ・ 広報誌の概要

発行時期：年4回(6/25、9/25、1/5、3/25)

発行部数：1号 9,000部

配布先：県、市町村、市町村社協、
県内福祉施設、県内福祉団体、
公民館、銀行、県内大学、
専門学校、高校、ボランティア
団体等

・サイズ・料金

規格 1区画＝縦5.2cm×横8.75cm

料金 1区画＝20,000円(消費税込)

・掲載について

掲載場所：県社協が指定した位置

掲載数：1号あたり最大8区画

■ ホームページバナー広告

・サイズ・料金

規格 1枠＝縦50ピクセル×横160ピクセル

料金 1枠＝30,000円/3ヶ月(消費税込)

・掲載場所

県社協ホームページのトップページで
県社協が指定した位置

・募集数(平成26年5月末現在)

残り 2枠

■ 申し込み方法

県社協ホームページ「広告の募集について」に掲載してある要項を熟読のうえ、申込書と広告原稿電子媒体を下記あてに郵送ください。

■ 申し込み・問い合わせ先

茨城県社会福祉協議会 企画室
TEL:029-241-1133



茨城県総合福祉会館 利用の案内

茨城県総合福祉会館では、広く県民の皆様気軽にご利用いただけるよう、県民サロンを利用したサロンコンサートの開催や、ギャラリーでの展示会をはじめ、コミュニティホール(定員296名)・多目的ホール・研修室の貸出しを行っています。各種講習会や研修・会議等にご利用ください。

〒310-0851 水戸市千波町1918 TEL 029-244-4545 FAX 029-244-4548





NPO法人 おたがいさま ふくしま・ふれあい農園 プロジェクト

福島第一原発の事故後、付近に暮らす住民の皆さんは避難を余儀なくされました。今年で震災から早くも3年という月日が経ちましたが、茨城県には今もそうした方が多く暮らしています。そんななか、NPO法人おたがいさまでは、原発事故による避難者の支援活動を実施。それが、「ふくしま・ふれあい農園プロジェクト」です。

「まったく土地勘もなく、周りに親戚さえいない場所で暮らすのは、誰だって相当のストレスと苦勞が伴います。そこで、家庭菜園を通じて避難者同士の交流が深まればと考えたのです」

と語るの代表を務める只野光芳さん。只野さんは、次のように当時を振り返ります。

「活動をスタートさせたのは、東日本大震災から2年が経過した2013年3月。まずは、那珂市の休耕畑を借りて、背丈ほどまで草が生い茂っている土地を開墾することからはじめました。メンバーは10人ほどで、そのほとんどが、それまで浪江町や南相馬市などで暮らしていた40歳代から60歳代の方々ですね」

その後、多くの人からの協力や支援もあり、畑の広さは約4,200平米まで拡大し、ビニールハウスも設置。今では、季節に応じてトマト、ネギ、ジャガイモ、キュウリ、かぼちゃ、ブロッコリー、丹波黒豆、トウモロコシ、大根、白菜など、25種類以上の野菜作りを行い、常陸太田市赤土町では蕎麦を栽培しているそうです。



代表の只野光芳さん

そして、毎年、収穫した作物を使った芋煮会や味噌作り、また蕎麦打ち体験など、さまざまなイベントを実施し、精力的に活動の輪を広げています。



お喋りは大切なコミュニケーションの時間



元氣にお話をしてくださった高崎幸子さん

農園のメンバーは毎週土曜日に集まり、午前中に畑作業を終え、午後は故郷の情報交換を行うなど、会話を楽しむ時間。参加者のひとりで浪江町出身の高崎さんは、「一日中、家に閉じこもっていると、ただただ時間だけが過ぎていってしまいます。そのため、外に出て野菜作りを通じて同郷の人たちと会話することは、私にとって本当に大切な時間。なにより、浪江弁を使って周りに気を遣わず、お喋りできる環境がいいですね」と明るく話します。

そんな高崎さんと只野さんの出会いは、浪江町が町民に向けて開催している「おしゃべり会」だったそうです。そこから、高崎さんが友人に声をかけ、メンバーが増えていったといいます。まさに、人と人とのつながりで集まったのが、農園の人たちなのです。



さまざまな野菜を育てている畑

最後に只野さんは、今後の展望について、「原発事故がいつ終息するかわかりませんが、さまざまな人と協力してメンバーを増やしていき、お互いに助け合いながら、一歩ずつ前に進んでいきたいですね」と力強く語ります。

原発事故を機に、一度バラバラになってしまったコミュニティの輪。それが野菜作りをきっかけに、ここ茨城で再びつながりつつあると強く感じられる活動でした。



この日収穫した白菜とブロッコリー



この日も力を合わせて畑作業

